



アルムの丘から

第 25 号

発行日 平成25年 7月8日 編集・発行 グリーンアルム広報委員会

郵便番号: 382-0034 住所: 長野県須坂市大字仁礼7番地10 電話番号: 代表026-215-2662

特別養護老人ホーム

グリーンパルベルの紹介



お花見(4月)

私たちグリーンパルベルは、ご利用者の「生活」を中心に考え、ご本人の希望や身体能力に応じ、日常生活を営むことができるように介護・機能訓練・レクリエーションにより支援しております。また、ご利用者に季節を感じていただくため、お花見、スイカ割りなどのイベントを企画し、楽しんでいただいています。毎週月曜日・金曜日にはコーヒー喫茶会、土曜日には居酒屋を開いておりますが、こちらもご利用者に好評です。このように生活に変化をもたせ、出来る限りご自宅で生活していた時のような日常生活が送れるよう日々努めております。

グリーンパルベルは終身施設です。ご本人の人格を十分尊重し、ご家族の協力を得ながら、最期まで心をこめた温かい介護ができるようこれからも職員一同努力してまいります。

施設の概要

入所定員

50名(特養45床/短期入所5床 対象: 要介護1~5の方)

スタッフ

施設長: 1名/医師(非常勤): 1名/看護職員: 2名

介護職員: 21名/生活相談員: 1名/管理栄養士: 1名

機能訓練指導員: 1名/介護支援専門員: 1名/事務職員: 2名

居室

多床室: 4人部屋・10部屋、2人部屋・3部屋/個室: 4部屋



七夕かざり(7月)



花火大会(7月)

1日の流れ

- 7:00 起床
- 7:30 朝食
- 9:30 リハビリ(集団・個別)
- 10:30 おやつ
(月・金曜日のみコーヒー喫茶)
- 12:00 昼食
- 14:00~ 入浴(2回/1週 月~土曜日)
- 15:00 おやつ
- 16:30 リハビリ(集団)
(土曜日のみ居酒屋)
- 18:00 夕食
- 21:00 就寝



スイカ割り(8月)



もちせんべい作り(5月)



居酒屋(1月)

随時、施設見学、入所の申し込みを受け付けております。生活相談員志原(しはら)までご連絡ください。

～自分の最期は自分できめる～

最近、終活という言葉を目にする機会があります。終活とは、映画“エンディングノート”でも紹介されているように、自分の終えんをしっかりと見つめ、今をよりよく自分らしく生きるための活動のことです。

生あるものは必ず“死”を迎えます。昔はタブーとされていた“死”に対し、自分が望む最期を迎えるために、須高地域医療福祉協議会では生前の意思表示というかたちの「終末期医療・ケアについての生前の意思表示」【リビング・ウィル】を作成しました。記入した内容は常に変更・撤回ができます。また、在宅で看取りを考えておいてのご家族のために「やすらかな看取りのために」も作成しました。どちらのパンフレットもいざという時のご家族、周囲の方の判断の助けになると思います。

自分の最期は自分で決める…この世に生を受け、その方の素晴らしい人生を最期の時までキラキラと輝いていただきたい、私達グリーン訪問看護ステーションは、常にご利用者・ご家族に寄り添い、お一人、お一人のニーズに合わせたケアを提供してまいります。

【リビング・ウィル】、「やすらかな看取りのために」のパンフレットをご希望される方は、グリーン訪問看護ステーション、須崎市地域医療福祉ネットワーク推進室までお尋ね下さい。

ーグリーン訪問看護ステーションー
(伊藤)



第10回

アルム祭

日時 平成25年7月28日(日)
PM1:00～PM4:00

場所 グリーンアルム複合施設

催し物、作品展示、
フリーマーケット、
喫茶コーナー、
健康チェックコーナー
今年も盛り沢山です。



皆様のご来場をお待ちしております。

職員募集中! 看護職・介護職



私たちと一緒に働きませんか
明るくて働きやすい職場です。
勤務時間をご相談に応じます。
お気軽にお問い合わせください。

担当 村田・小林

TEL 026-215-2662



編集後記

今年5月に、人生2回目の宮城県へお邪魔することが出来ました。人生初は東日本大震災から1年3カ月後。石巻、気仙沼、南三陸町へお邪魔し、海岸清掃のボランティアと現地の視察や被災された方との交流の場を設けていただきました。

約一年後の今年は、仙台市のボランティア団体「おもいでかえる」さんの活動に参加させていただきました。ここは、震災後に自衛隊や現地の消防隊の方、ボランティアの方が「想い出だけでも届けたい。」と拾った写真やアルバム、また、持ち主から依頼された写真を洗浄、復元の作業を行っている団体です。

当日は持ち込みのアルバムを、台紙から二枚一枚切り取り、糊やカビの拭取り、ナンバリングの作業を行いました。アルバムは持ち主の方の大切な想い出(人生)の一部分の写真でした。

現在は、デジタルカメラやスマートフォンで撮影し、パソコンなどにデータを保存する時代です。

水に濡れた写真は元には戻らないそうです。でも、自分のデータが無くなってしまうのは何が残らない事を考え、写真に残す事も必要だと思いました。

話は変わりますが、奥松島のソックスモんキーの「おのくん」はご存知ですか?今年のアルム祭のバザーの売り上げは「おのくん」の餌代(材料代)となり奥松島へ届ける予定です。アルム祭当日は、縁があり職員の許に里子にきた「おのくん」も、一緒にバザー担当として頑張りますので、皆さん売り上げに協力お願いします。

(市村)